

# 令和8年度から 第5次沼津市総合計画 後期推進計画が始まります

後期推進計画では、新たに次の視点を取り入れます。

## ◆若者・女性に選ばれるまち

- ・ジェンダーギャップの解消などの取組により、女性をはじめ誰もが暮らしやすいまちへ
- ・U・I・Jターン就職支援、移住定住の促進などの取組により、若者に選ばれるまちへ
- ・子育て世帯の負担軽減、保育サービスの充実などの取組により、子育てしやすいまちへ

## ◆ウェルビーイングの向上


- ・沼津駅周辺総合整備事業など都市基盤の整備により、住みやすいまちへ
- ・誰もがいきいきと輝き躍動できる場づくりなどの取組により、自分らしいライフスタイルを実現できるまちへ
- ・スポーツ・芸術文化の振興、健康長寿の推進、障がいや難病のある人が安心して生活を送るための支援などの取組により、笑顔があふれ健康で心豊かに暮らせるまちへ

未来へつなぐ  
まちづくり


## 第5次沼津市総合計画 目指す将来都市像

「人・まち・自然が調和し、躍動するまち」  
～ 誇り高い沼津を目指して ～

**視点1** **暮らしやすいまちへ**




**視点2** **ひとが行き交うまちへ**



**視点3** **産業が元気なまちへ**



**視点4** **安全・安心のもとで暮らせるまちへ**



消に向けた取組など、誰もが暮らしやすいまちを推進していくとともに、子育て世帯の負担軽減、保育サービスの充実など、子育てしやすいまちを目指してまいります。さらに、若者や女性をはじめ、多くの人々に定住してもらうためには、働く場所の確保が課題であることから、企業誘致や事業承継の促進など、産業振興策にも積極的に取り組んでまいります。新年度は、芸術文化の分野につきましても、芸術文化の振興に向けた機運が高まる中、市長部局に「文化政策課」を新設し、私が先頭に立ち、文化的魅力と市民の創造力を最大限に引き出す施策を展開することで、芸術文化を活かしたまちづくりを推進し、更なるまちの活力向上につなげてまいります。

現在、本市におきましては、これまでの取組の成果が実を結び、明るい話題も増えてきており、未来に向けた歩みが着実に進んでいるものと実感しております。引き続き、その流れをより加速化させるべく、更なる市勢発展に向けて全力で取り組むとともに、国や県とも連携し、本市のウェルビーイングの向上を図ることで、市民の皆様がまちに誇りを持っていきいきと活躍でき、幸福を感ぜざるまちを創り上げてまいります。(一部抜粋)

政策企画課  
0555-9334-4704



全文はこちら

# 令和8年度 施政方針



令和8年2月の市議会定例会で、新年度の市政運営の考えと、重点施策を盛り込んだ施政方針を発表しました。

我が国における人口減少・少子高齢化の進行、物価高騰の影響、AIをはじめとするデジタル技術の急速な革新など、地域社会を取り巻く状況は急激に変化しております。

このため、市政運営にあたっては、時代の変化や課題を的確に捉えた上で新しい時代を切り拓くため、前例やこれまでの常識にとらわれず、柔軟に対応していく必要があると考えております。

このような中、本市のみならず県東部地域の発展には欠かすことができない沼津駅周辺総合整備事業につきましては、新貨物ターミナルや新車両基地の工事が目に見える形で進展し、いよいよ新年度には、念願の鉄道高架本体工事に着手いたします。

また、沼津駅北口ではイオンタウンの準備工事が本年1月から始まり、南口では新年度に西武百貨店本館跡地の「NUMAZU JAMS」や中央公園の整備が完了するほか、町方町・通横町第一地区の再開発事業や沼津南一色線の道路整備が進められるなど、本市のまちづくりは加速度的に進んでまいります。

これからのまちづくりには、若者や女性に選ばれるまちとしての視点が重要であることから、ジェンダーギャップの解